

研究機関名：東北大学

受付番号：2009-340

研究課題名

大腸がんの KRAS 遺伝子変異率に関する観察研究

研究期間 西暦 2009年 11月 (倫理委員会承認後) ~ 2014年 10月

対象材料

- 病理材料 (対象臓器名 結腸・直腸、肝臓、リンパ節 )  
■生検材料 (対象臓器名 結腸・直腸、肝臓、リンパ節 )  
血液材料 遊離細胞 その他 ( )

上記材料の採取期間 西暦 2005年 1月 ~ 2014年 10月

対象：東北大学胃腸外科・肝胆膵外科 (旧第一外科) で、大腸癌あるいはその転移に対して手術を行った患者様。

上記の対象患者様で、この試験についての質問や、試験参加を希望されないかたは、下記の窓口までご連絡下さい。

意義、目的

EGFR を標的とした抗体の効果について、KRAS 遺伝子変異のある症例は効果が期待出来ないことが示されている。本研究では「大腸癌の KRAS 遺伝子変異率に関する観察研究」多施設共同研究に参加し、試料を提供する。

方法

2005年1月から2014年10月までの間に、当院において大腸癌 (結腸癌、直腸癌) およびその転移の手術を行った症例を対象とする。

原発巣または転移巣の手術標本あるいは生検標本のホルマリン固定パラフィン包埋組織ブロックまたは薄切切片について匿名化した上で試料を提供し、direct PCR 法にて KRAS 遺伝子の変異の有無を確かめる。

問い合わせ等の窓口

東北大学病院 胃腸外科 安藤敏典  
肝胆膵外科 林 洋毅

022-717-7205

hiroki@surg1.med.tohoku.ac.jp